

世界の麻疹発生状況(更新 3)

2011年8月7日 ProMED 情報

(1) アイルランド [IrishCentral]

同国保健当局は、ヨーロッパで麻疹の大流行が発生したことから、子供に麻疹の予防接種をするように親に勧奨しています。同国では、約10%が海外で感染しました。

今年はじめからヨーロッパでは、7名の死亡患者を含む21,000名以上の患者が発生しています。多くの患者がフランス、スペイン、ベルギー、イタリアなどへ休暇旅行先で感染しました。

同国では、1月から約110名の患者が報告されています。現在のワクチン接種率は91%ですが、95%まで上げる必要があります。

(2) ルーマニア [Eurosurveillance, Volume 16, Issue 31]

同国では1~6月まで2,072名の患者が、42地区中29地区から報告されています。患者がないのは、予防接種を受けていない1~4才の子供で、北西地域で発生しています。現在、死亡患者は発生していません。

(3) 英国(ウエストミッドランド West Midlands) [Sunday Mercury]

ウエストミッドランドでは、6月までに30名の確定診断患者が発生しています。昨年(13名)と比較して2倍以上です。多くの患者が学童ですが、8名は20代と30代です。

全国では、昨年の374名に対して、今年1月からの患者数は654名です。保健予防当局はヨーロッパの麻疹の流行に関連して、夏休み中に子供の感染が広がらないように予防接種をすべきと警告しています。

(4) エチオピア [Radio Netherlands Worldwide, Africa]

8月6日、国連難民高等弁務官事務所 (UNHCR) によると、ここ数週間に飢饉で逃れたソマリア難民が、南東のエチオピアのドロアド Dollo Ado の難民キャンプに避難し、麻疹の流行が心配されています。8月4日、保健担当者によると、Kobe の難民キャンプで25名が死亡しましたが、そのうち半数は麻疹の疑いがあると報告しました。周辺の他の難民キャンプでも患者が報告されています。8月9日から専門家チームが予防接種キャンペーンを行う予定です。

(5) フィリピン(カピス Capiz 州) [Philippines Information Agency]

7月29日現在、保健当局は、カピス州の麻疹症例の急増を抑制するための取り組みを強化しています。カピス州では、43名の患者が報告されており、そのうち41名の患者が州内の発生で、2名がア克蘭州とイロイロ州からの輸入例です。州内では、ロハス Roxas 市で22名、Dao で4名、Pilar と Panay で各3名、Ivisan と Jamindan で各2名、Dumalag、Mambusao、Panitan、President Roxas、Sigma で各1名発生しました。また患者数は6月が最も多く25名、次いで5月9名、1月、2月、4月にそれぞれ3名が発生しています。